

産業人材の確保及び育成に関する調査結果

東京都立中央・城北職業能力開発センターでは、管内の中小企業に対して、人材確保・育成に関するアンケートを実施し、その結果を取りまとめました。

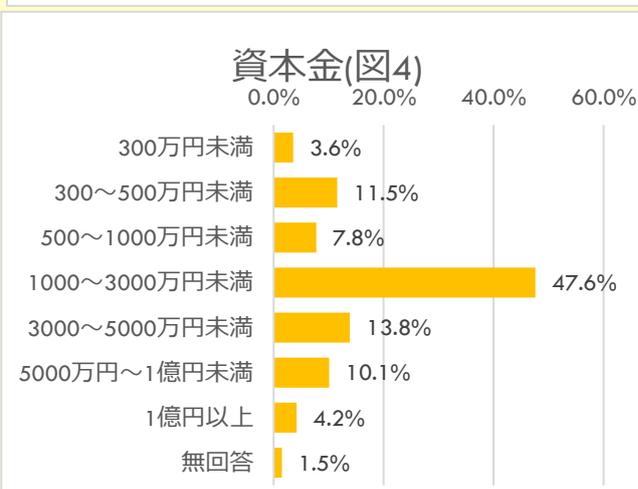
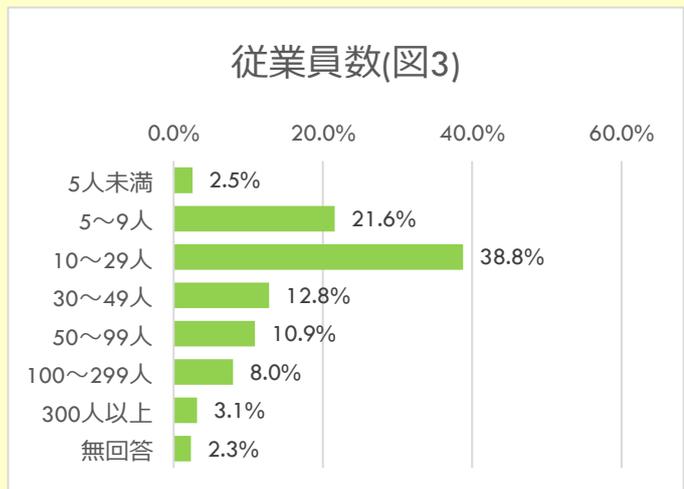
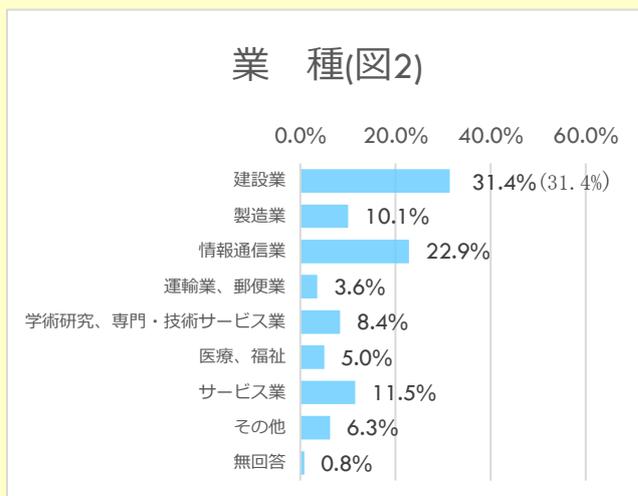
◆ 調査結果の概要 ◆

調査時期： 令和6年1月9日～令和6年1月29日
調査対象企業： 中央城北管内の中小企業 3,000 社
（総務省 事業所母集団データベースからランダムに抽出）
有効回答数： 477社（有効回答率15.9%）

◆ 調査結果の主なポイント ◆

1 回答企業の概要

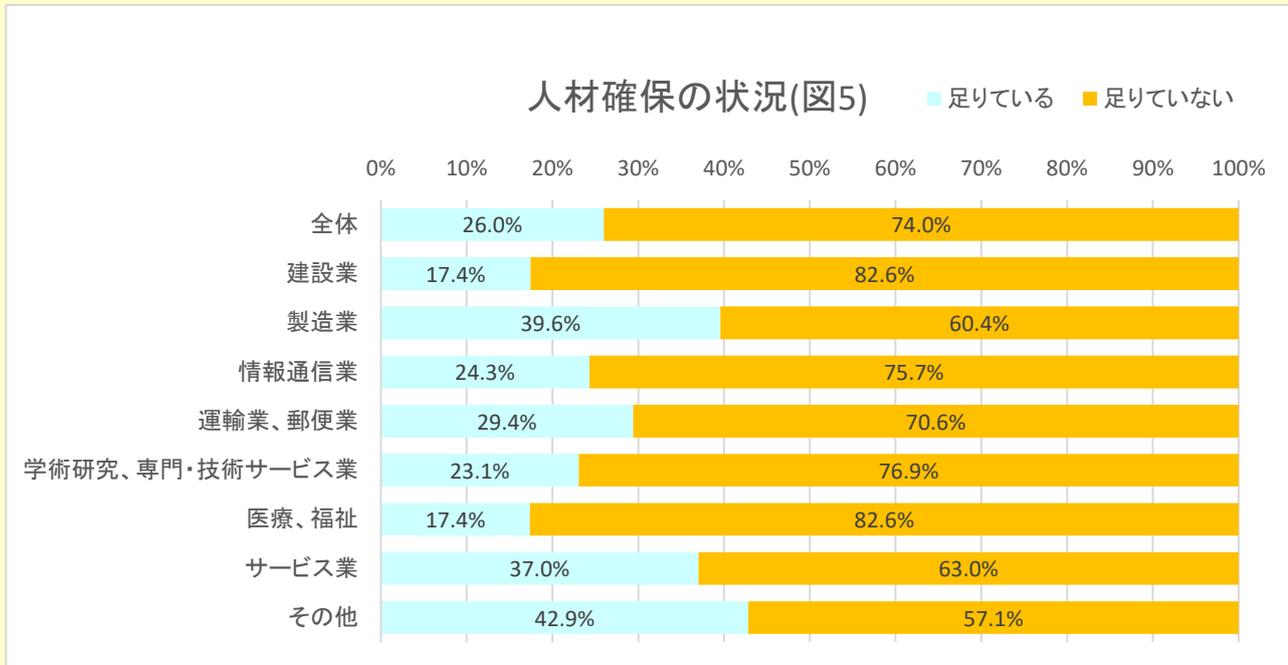
所在地では「千代田区」16.7%（図1）、業種では「建設業」31.4%（図2）、従業員数では「10～29人」38.8%（図3）、資本金では「1000～3000万円未満」47.6%（図4）が最も高くなっています。



2 人材確保について

(1) 人材確保の状況

人材の確保については、「足りていない」74.0%（前年58.5%）の割合が大きく増加しました。更に、全業種で「足りていない」が半数を超え、中でも「建設業」82.6%、「医療、福祉」82.6%、「学術研究、専門・技術サービス」76.9%となっています。（図5）



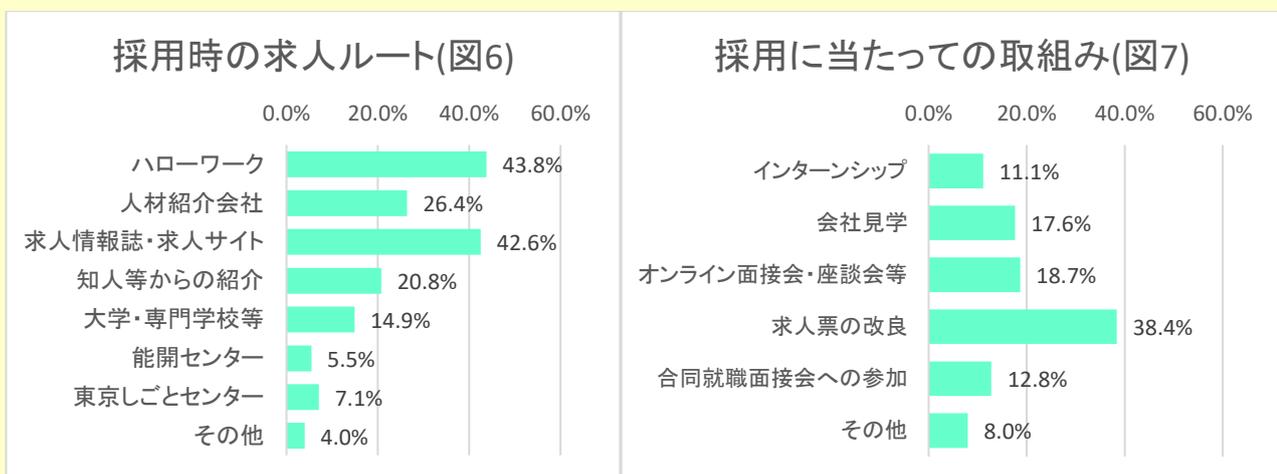
(2) 採用の方法

ア 募集・採用手段

『募集・採用手段』では「ハローワーク」43.8%（前年56.5%）の割合が大きく減少、「求人情報誌・求人サイト」42.6%（前年40.9%）や「能開センター」5.5%（前年3.6%）の割合は増えました。（図6）

イ 採用に当たっての取り組み

『採用に当たっての取り組み』は「求人票の改良」が前年に引き続き最も高くなりました。（図7）

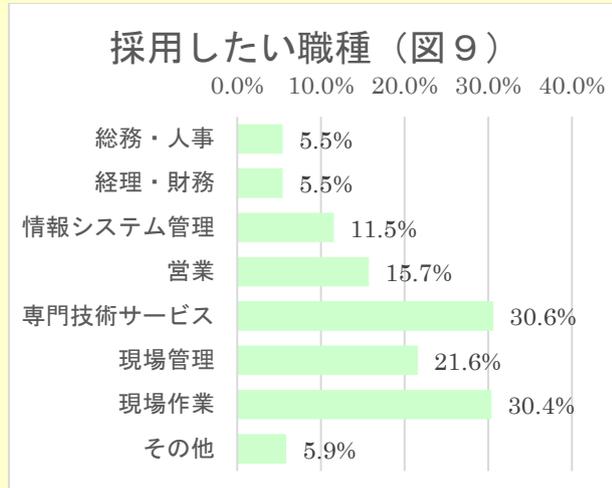
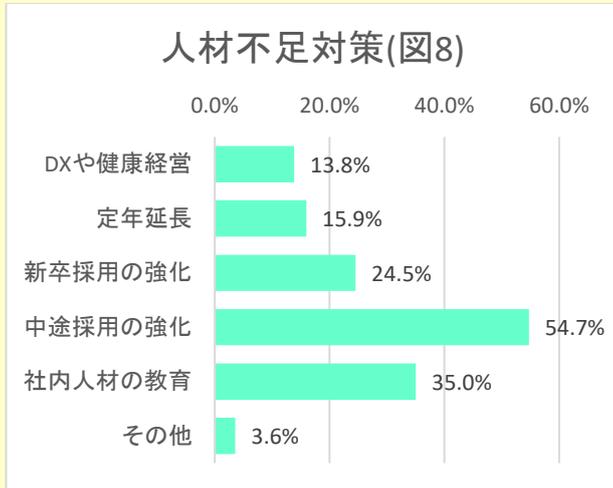


(4) 人材不足対策

『人材不足対策』は、「中途採用の強化」が54.7%と最も高く、次いで「社内人材の教育」が35.0%となっています。(図8)

(3) 採用したい職種

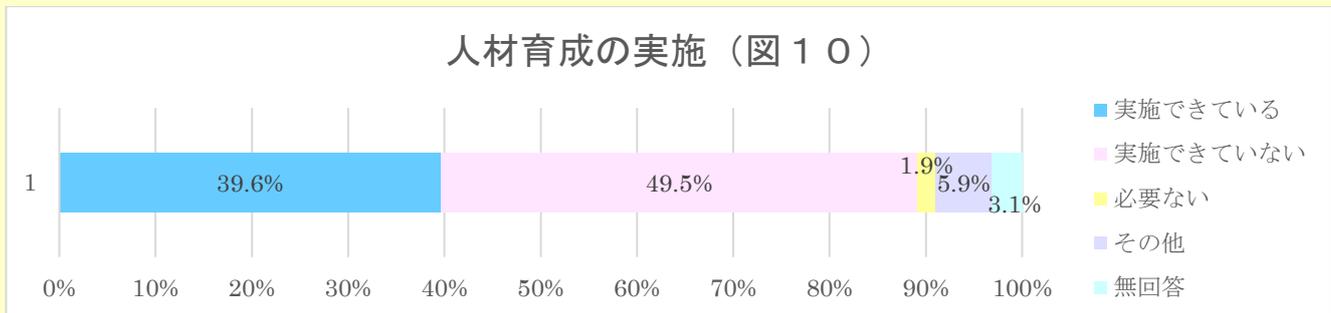
『採用したい職種』は、「専門技術サービス」が30.6%と最も高く、次いで「現場作業」が30.4%となっています。(図9)



3 人材育成について

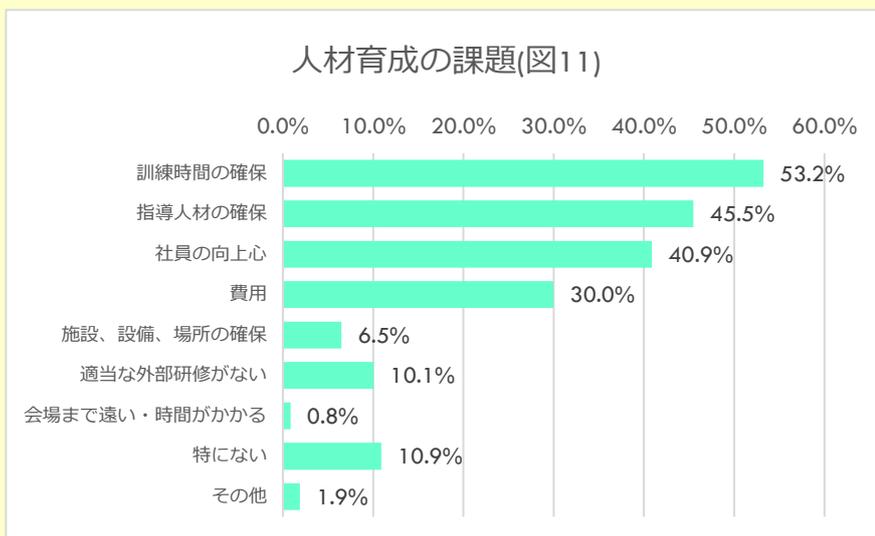
(1) 必要な人材育成はできているか

『必要な人材育成が実施できているか』は、「実施できている」が39.6%、「実施できていない」が49.5%となりました。



(2) 人材育成の課題

『人材育成の課題』では、引き続き「訓練時間の確保」が53.2%(前年52.9%)、「指導人材の確保」が45.5%(前年40.1%)と上位を占めておりその割合も前年に比べて増加しています。(図11)

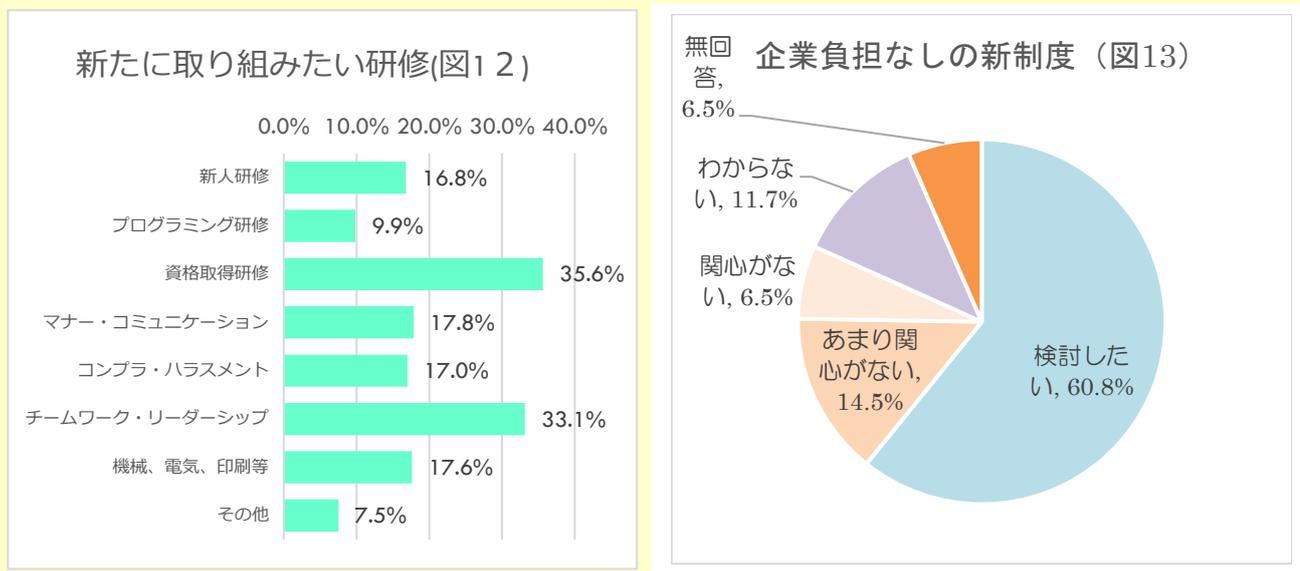


(3) 新たに取り組みたい研修

『新たに取り組みたい研修』としては、「資格取得研修」が35.6%、「チームワーク・リーダーシップ研修」が33.1%となっています。(図12)

(4) 研修の企業負担

『上記の研修を企業負担なしで受講できる制度があれば利用を検討したいと思うか』では、「検討したい」が60.8%、「関心がない」と「あまり関心がない」の合計が21.0%となりました。



4 職業能力開発センターについて

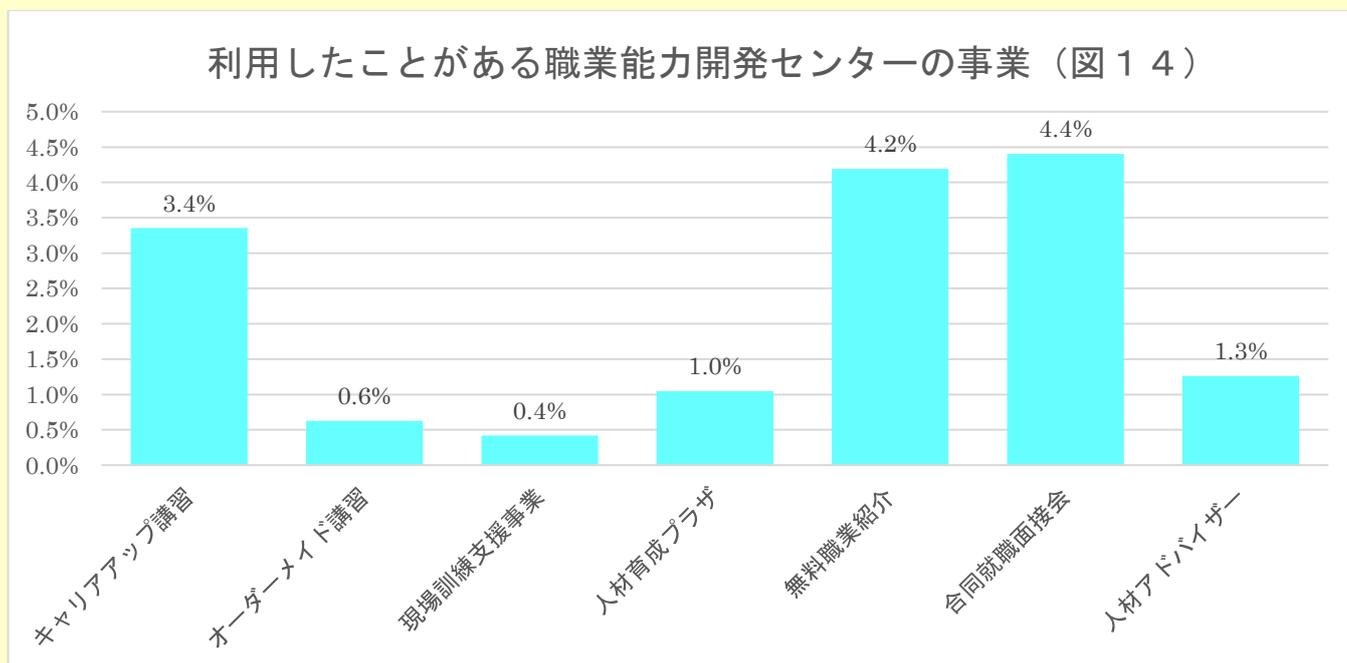
(1) 東京都立職業能力開発センターの認知度

『東京都立職業能力開発センターを知っているか』では、「知っている」が64.4%、「知らない」が28.5%となりました。

(2) 東京都立職業能力開発センターの事業の利用

ア 利用したことがある事業

『利用したことがある事業』では、「合同就職面接会」が4.4%、「無料職業紹介」が4.2%、「キャリアアップ講習」が3.4%となりました。(図14)



イ 今後利用してみたい事業

『今後利用してみたい職業能力開発センターの事業』では、無料職業紹介が24.9%（前年21.4%）など、オーダーメイド講習を除くすべての項目で前年を上回っています。（図11）

※()内は前年数値

